

2010年11月12日経営会議の概要

日時	2010年11月12日（金）午前9時～午前11時
出席者	<p>委員・幹事：市長、鷲北副市長、浜副市長、政策経営部長、総務部長、財務部長、政策経営部経営改革室長、政策経営部広報広聴担当部長、政策経営部企画政策課長、政策経営部秘書課長、総務部総務課長、総務部法制課長、総務部職員課長、財務部財政課長</p> <p>説明：議題1 政策経営部長、企画政策課長 議題2 都市づくり部長、公園緑地課長、都市計画課長 議題3 都市づくり部長、都市計画課長</p>
議事内容	<p>議題1：「町田市中長期計画策定方針」の策定について（政策経営部）</p> <p>《付議の目的》 ○ 町田市中長期計画の策定にあたっての基本的な考え方について、承認を受ける。</p> <p>《提案の概要》 2004年に10年間の基本計画、2007年に5年間の中期経営計画を策定し、その推進に努めてきたが、策定時と比較し、社会経済状況や国の制度など、市を取り巻く状況が大きく変化している。こうした状況を踏まえ、目指すべきまちの姿、あるべき行政経営を実現させるため、新しい計画を策定する。2012年度を初年度とする新たな計画は、新基本計画と新中期経営計画で構成される。新基本計画は、町田の未来を見据えたまちづくりと行政経営の基本的かつ中長期的な方針を示す10ヶ年計画とする。新中期経営計画は、まちづくりの重点的な取り組みを示す新重点政策プラン、行政経営の重点的な取り組みを示す新行政経営改革プラン、歳入・歳出の見通しを示す新中期財政見通しからなる5ヶ年計画とする。</p> <p>《主な意見》 特になし</p> <p>《会議結果》 提案内容を承認する。</p>

議 事 内 容	<p>議題 2：町田市緑の基本計画改定（案）について （都市づくり部）</p> <p>《付議の目的》</p> <p>○ 町田市緑の基本計画改定（案）について承認を受ける。</p> <p>《提案の概要》</p> <p>市ではこれまで、多摩丘陵をはじめとした歴史的・文化的風土を今に残す、緑を基調にした良好な都市環境の保全育成をすすめてきた。緑の現状や緑を取り巻く社会情勢、関連法令などの変化を受け、緑に関する施策をさらに進めるため、新しい計画を策定する。2011年度を初年度とする新しい計画では、緑の確保目標水準を見直し、市民の緑に対する市民満足度を指標に設定する。また、緑のまちづくりに向けた施策を具体的に提示する。それによって、町田の環境文化を育む多摩丘陵・里山回廊の保全・再生・活用を図る。</p> <p>《主な意見》</p> <p>○ 政策領域における課題の立て方において、現状分析が不十分である。施策の展開の際には、再度検討の上、具体的事業や手法を整理すること。</p> <p>○ 基本理念に掲げている「谷戸山」という言葉は、市民には馴染みがなくイメージしづらいのではないかと。市民に分かりやすく伝えるためには、「里山」という表現に変えるべきである。 *上記意見を踏まえ、「谷戸山」から「里山」へ名称を変更しました。</p> <p>《会議結果》</p> <p>提案内容を承認する。上記意見に留意して、進めていくこと。</p>
	<p>議題 3：町田市都市計画マスタープラン改定（案）について （都市づくり部）</p> <p>《付議の目的》</p> <p>○ 町田市都市計画マスタープラン改定（案）について承認を受ける。</p> <p>《提案の概要》</p> <p>現行の都市計画マスタープランは、策定から 10 年が経過した。その間高齢化・少子化の進行や、地域環境問題等様々な社会経済状況の変化が生じている。また、景観法の制定やまちづくり三法の見直しなど、都市計画に関する基本的な変更を行う必要が生じている。このような状況の中で、時代に対応した内容を市民と共有していくため、都市計画マスタープランの見直しを行う。2011 年度を初年度とする新しい計画では、「都市をつくる時代」から「成熟した都市の質を高める時代」へシフトし、都市の成熟期に即したコンパクトで持続可能な市街地の形成をめざす。また、市民と共有しやすい方針とし、新たなニーズや時代の要請に対応するため、5つのテーマ別まちづくり方針を策定する。それにより、環境文化を育む魅力ある質の高い生活都市を実現する。</p> <p>《主な意見》</p> <p>特になし</p> <p>《会議結果》</p> <p>提案内容を承認する。</p>